

## 太陽光発電

### 古河電工など、アルミケーブルが太陽光発電2件で採用 阿久根第一・第二太陽光発電所、施工省力化実現

古河電気工業は、古河電工産業電線と共同で開発・製造し、SFCCが販売する高機能型アルミ導体C Vケーブル「らくらくアルミケーブル」が、鹿児島県の阿久根第一・第二太陽光発電所の建設工事に採用された。第一発電所は九州おひさま発電、第二発電所は九州エナジーが施主の発電所で、出力は両発電所とも1,990kW。ケーブル導体にアルミニウムを採用したらくらくアルミケーブルは、一般的な銅導体ケーブルと比較して30%～50%軽量で使い勝手に優れ、延線作業の効率化により工期の短縮を実現できる。今回、新製品である6600Vアルミ導体C Vケーブルを初めて納入し、既存製品の600Vアルミ導体C Vケーブルとあわせて、発電所建設における延線工事の省人化・効率化で、約20%の省力化を実現したという。

